



ごあいさつ

2009年度精密工学会春季大会実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。

このたび2009年度精密工学会春季大会を3月11日から13日まで中央大学後楽園キャンパスで開催することとなりました。今回は精密工学会の75周年を記念する特別の大会となります。この機会に中央大学で大会を開催できることは大変名誉なことと実行委員一同はりきって大会運営に励みますので、ぜひ多くの方々にご参加いただきたいと思います。

さて、75周年記念大会のキャッチフレーズは「次の25年をどうのりきるか、ものづくり」といたしました。精密工学会は1933年に「精機協会」として設立され、生産技術の学会として製造業の中核を担い、最近までの日本の高度成長の原動力となってきました。しかし、現在ではエネルギー問題などに見られるように持続性社会でのものづくりを目指すことが必要となってきています。次の25年において精密工学会がどのような活動を展開し、来るべき100周年を迎える時にはどのようなものづくりを提唱することができるか、を考えるよい機会になればと期待しております。

大会中では75周年を記念したシンポジウム、招待講演をもうけておりますので、多くの方々にご参加頂き活発な議論が展開するよう大会運営いたします。会場は東京駅からも非常に近く、交通至便なところです。また所在地である文京区には名所旧跡がたくさんあり、ぜひ一度お訪ねください。

本大会が皆様にとって有意義となるよう実行委員一同で最大限の努力をいたしております。会場でお目にかかれることを楽しみにしております。

2009年度精密工学会春季大会実行委員会
委員長 大久保 信行